

私たちの活動や意見を平和委員会のなかまたちに伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

土浦平和の会

ニュースNo. 189 2007年11月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

http://www.geocities.jp/ino011_jp/

12月8日は何の日・

太平洋戦争開戦の日を記憶していますか

自民・公明連立与党はアメリカの戦争を支援する「新テロ特措法」を衆議院本会議で強行採決しました。米軍への給油がイラク戦争に使われていることは既に疑いも無い事実であるにもかかわらず、福田総理の訪米土産として強引に採決に持ち込んだ福田内閣の姿勢は、口では野党との対話を重視すると言いながらやはりアメリカ追従という点では一步も譲らない本性を現したものです。

守屋疑惑は防衛庁(省)ぐるみの大掛かりな背景を感じさせますが、ブッシュ政権の米軍再編成は日本を米軍の世界戦略に巻き込んでいく方向をますます露骨に示しています。テロ撲滅を口実に中東の支配を固めようとするブッシュ戦略に日本が加担することは、憲法に反するだけでなく、日本の平和外交に期待する世界中の友好国の期待を裏切るものです。

「軍力でテロはなくなる。」「テロリストと一般市民を識別することは困難である。」「米軍のテロ掃討作戦は一般市民を巻き添えにしテロリストを増殖している。」というのは常識になっているにも関わらず、米軍の海上封鎖がテロ撲滅に役立っているとか、空爆でテロが沈静化しているとかいうのは馬鹿げた空論に過ぎません。空爆によって市民を殺し恐怖に陥ればテロがなくなると考えているのは、いまやブッシュと一部の側近だけです。いつまで続くか分からないこの殺戮に日本が加担することは認められません。これをとめる方法はやはり世論の力です。

12月8日の新聞意見広告にご協力ください

意見広告趣旨 憲法九条を守ろう、自衛隊の海外派兵からの撤退、
百里基地に米軍機くるな等

掲載紙 読売新聞(12月8日)

賛同費

個人1人	1口	1000円
団体	1口	3000円

第1次締切り 11月末日 **最終締切り** 12月7日

平和の会ニュース、平和かわら版(PDF版)配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122
 早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会のなかまたちに伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

07年平和の旅

<丸木美術館>

あいにく雨模様の10日、小江戸蔵作りの街川越を歩いて、江戸との交易で栄えた昔の商人町の風情を味わった後、丸木美術館の「原爆の図」を見学しました。美術館は国道から少し外れた裏街道の静かな川べりの森の中がありました。思ったよりも大きな2階建ての奥に長い建物です。一見田舎町の映画館か劇場のような木戸を入るとロビーには美術館の経営を支えるべき様々な書籍やパンフレットが並べられていました。展示場に入ると天然光の薄暗い室内の壁面いっぱいに巨大な群像が見えます。第1部“幽霊”それはあの焦熱地獄を見た人にしか描けない恐ろしい光景でしょうか。妖気が漂っています。第2部“火”、第3部“水”、第4部“虹”・・・第14部“からす”まで、23年をかけた大作が語っても語りつくせぬ惨状を訴えています。ヒロシマを見た夫婦の画家はさらに反戦の思いを“南京大虐殺”“アウシュビッツ”“沖縄戦”と生涯をかけて描き続けます。とにかく実際に見なければ分からない圧倒的な大きさと怖さ。一度は見たい大傑作です。(I)

秩父に行って「秩父事件」を聞きました

11月11日(日)晩秋の秩父に行ってきました。

はちや柿がいたるところにあり、干し柿にするとのことでした。そんな山の中に家が点在している。畑はと見ると、かなりの傾斜地にあり、石がゴロゴロと多く、足を滑らせたなら谷底まで止まらずに転げ行くだろうと思われる場所です。旅行で行くのなら癒しにとっても良い所ですが、そこに住むとなると大変辛い不便な所です。そんな所で起こったのが、秩父事件です。埼玉県、群馬県、長野県と広い地域からの参加だったそうです。当時の政府に向けて農民の苦勞、苦痛、苦悩が爆発したのです。しかし、お金に困った人達ばかりではなく、裕福な人達もリーダーとして参加していたそうです。その人達のお墓を四ヶ所参ってきました。本当に立派なお墓もあり、小さなお墓も在りで様々でした。暴徒の汚名を着せられて名誉回復のため真実を訴え続けた落合寅市。自由民権の志を生涯かけて語り続けた人！生きざまを貫き通した人でした。懲役十年の判決を受け、拷問90日を耐え、生きて帰ってきた。念願の「秩父事件記念碑」は寅市の子に引き継がれ建立されたそうです。秩父事件100年を迎えた1984年以後記念行事や顕彰運動が始まりました。

それぞれの立場で、自らの意志で立ち上がり、一命をかけて戦う。弱い人たちも追いつめられると牙をむく。生きるか、死ぬかの選択の時、人は何を思い何を考え行動するのか。人間らしく生きるとはどんなことか、私だったらどんな行動をとったのだろうか。深く考えさせられた時間がゆっくりと流れて行った1日でした。

小嶋理恵子



困民党決起の棕神社

活動ごよみ

11/10・11 平和の旅(川越・秩父)
 11・20 平和の会理事会(コープつちうら)
 11/23~25 平和大会 in 沖縄

12・8 赤紙くばり&ビデオ学習会
 読売新聞意見広告

平和の会ニュース、平和かわら版(PDF版)配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122
 早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください